

しろやま



病院理念

城山病院は患者さまのために存在します

2025年7月号

医療法人春秋会 城山病院

大阪府羽曳野市はびきの2-8-1

TEL 072-958-1000

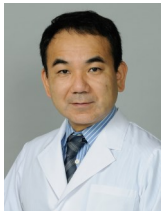
編集・発行 情報システム課

Vol. 97



SPECIAL

手術で治せる認知症をご存じですか？



脳・脊髄・神経センター
顧問 梶本 宜永 医師

世界一の長寿国である日本では今後、高齢者の5人に1人が認知症を発症するという予測があります。昔は「認知症は治らない」と思われていましたが、新薬の登場や検査方法の発展で、早期発見・治療で治せるようになりました。

そして、手術で治せる認知症もあるのです。梶本医師に話を聞きました。

認知症には種類がある

皆さんがご存じのように、認知症は発症する原因により、いくつか種類があります。三大原因と言われているのが、脳全体が委縮する「アルツハイマー型認知症」(全体の約50%)、脳梗塞や脳出血などが原因の「脳血管性認知症」(同20%)、異常なたんぱく質の蓄積によるレビー小体が脳にたまる「レビー小体型認知症」(同10%)です。

この他の原因には、慢性硬膜下血腫や甲状腺機能低下症、脳炎そして今回詳しくお話する正常圧水頭症があります。これらは先述の三大原因とは異なり、原因となる疾患を治療すれば認知症は発症しません。

正常圧水頭症

頭蓋骨内は脳と脊髄以外に髄液という液体で満たされており、この髄液が何らかの原因により通常よりも多くなった状態が正常圧水頭症です。70歳以上では40人に1人が髄液がたまり過ぎていることが判明しています。

たまり過ぎた髄液は様々な悪影響を及ぼします。まず、過剰になった髄液の圧力が脳がダメージを受け、記憶力や気力低下、よちよち歩きになり転倒する、トイレに間に合わない等の症状が同時期に始まります。

つまり、たまり過ぎた髄液を人工的に排出する手術(シャント

手術)を行うことで、認知症を治すことができます。この手術は身体への負担は少なく、安全なため、90歳以上の方にも行えます。

また、髄液は脳細胞のごみ(アミロイド、タウ)を洗い流す作用があることが最近分かってきました。アルツハイマー型認知症はこれらのごみが脳に貯まることで発症します。

見逃される「よちよち認知症」

正常圧水頭症による認知症の特徴はよちよち歩きになることが特徴であることから、私は「よちよち認知症」と呼んでいます。問題はこの症状が「老化現象」と勘違いされたり、また、医療機関に受診してもアルツハイマー型認知症や脳血管性認知症と混同されてしまうケースが多くあることです。

私たち脳神経外科医や神経内科医にとって正常圧水頭症はなじみのある疾患ですが、他科の先生方には十分に認識されているとは言えません。その結果、治る疾患であるにもかかわらず、見逃されているのです。

現にこの疾患は日本で年間約10万人発症していると推計されますが、手術を受けるのは5,000人ほどです。

つまり、20人のうち19人は見逃されていることになり、非常に歯がゆい思いです。

最後に

長生きすれば誰でも少なからず認知症になり、その運命は変えられません。しかし、早期に専門医を受診し、治療を行うことで人生は変わります。

城山病院では脳血管の病変や脳腫瘍、海馬の萎縮などをMRIで検査する脳ドックを始め、脳内のアミロイドの有無や程度を調べる認知症アミロイドPET-CT検査、認知症リスクAI予測ドックなどを行い、バリエーション豊富な治療を行っています。

気になる方は気兼ねなく当院の脳神経外科外来、水頭症外来でご相談ください。

がんサロン「白鳥の会」を開催しました

2025年5月27日にがんサロン「白鳥の会」を開催し、「がんにおける栄養と運動～バランスの考え方～」というテーマで講演がありました。

がん治療を行う中で、特に栄養と運動のバランスが大切です。食事が食べられないときの栄養補助食品の利用方法や日常の運動方法、筋力の増やし方など具体的なお話を行いました。

参加者の方からは、より多くのがん患者様とご家族に参加して頂けるように開催場所、方法などを工夫していきます。次回は8月26日を予定しています。

詳細が決まりましたら城山病院ホームページでお知らせいたします。
みなさまのご参加をお待ちしています。

次回がんサロンは、8月26日(火)予定しております。
ぜひご参加ください。



ロボット支援下手術 300症例達成！

消化器外科・泌尿器科 ロボット支援下手術 300症例達成

当院で2023年1月に初症例のロボット支援下手術を行い、2023年12月14日100症例、2024年8月20日に200症例に続き、2025年5月30日に300症例達成しました。

城山病院は、看護師や臨床工学技士など多職種で協力しながら安全な手術を提供しております。

これからも患者様にとって身近な病院であり、高度な医療を提供できる病院として努力してまいります。



消化器外科医師・泌尿器科医師
ロボット支援下手術に携わるスタッフ

ご興味のある方は、
右側QRコードより
城山病院ホームページ
をご覧ください。



しろやまハイブリット研修会のご案内

医療従事者向け

ACPの意思決定支援 ～患者の意思はどこにある？～

患者の意思を尊重するために、ACPによる意思決定支援についてお話しします。

日程:2025年7月18日(金) 17:30～18:15

講師:クオリティマネジメントセンター主任 社会福祉士 岡崎泰弘

会場:オンライン(ZOOM)

ミーティングID:883 4337 0368

パスコード:799150

ZOOM参加
QRコード



ショックの4分類と初期対応

～急変対応でパニックにならないために循環動態から考える初期対応～

ショック内容によって初動が変わります。患者さんの状態を把握することで有効的な治療につなげることができます。

日程:2025年7月24日(木) 17:30～18:15

講師:クリティカルケア認定看護師 ICU管理主任 阪本 幸信

会場:オンライン(ZOOM)

ミーティングID:879 1605 5727

パスコード:056721

ZOOM参加
QRコード



「第13回 しろやま健康教室」のご案内

～ 第13回 しろやま健康教室 ～

会場:城山病院 1階エントランスホール

日時:2025年7月17日(木) 14:30～15:30



**参加料無料・駐車場無料
事前申し込みは不要です**

第1部 14:30～15:10

「年のせいだと思いませんか？その頻尿」

講師:泌尿器科 副部長 堤 岳之 医師

第2部 15:10～15:30

「気になる頻尿、我慢しないで！～今日からできる対策～」

講師:皮膚・排泄ケア認定看護師(WOC) 藤田 美沙 看護師

LICはびきので市民健康講座を開催します！

最先端の膝関節治療

～再生医療からロボット支援下手術まで～

会場:LICはびきの・ホールM(羽曳野市軽里1-1-1)

日程:2025年8月16日(土)

時間:14:00～15:30 ※13:30開場

講師:整形外科 部長

人工関節・膝関節機能再建センター センター長

村上 友彦 先生

詳しくは、右側QRコードより

城山病院ホームページをご覧ください。



**どなたでもご参加いただけます！/要事前予約
(城山病院ではお申込みできませんのでお気を付けください。)**